

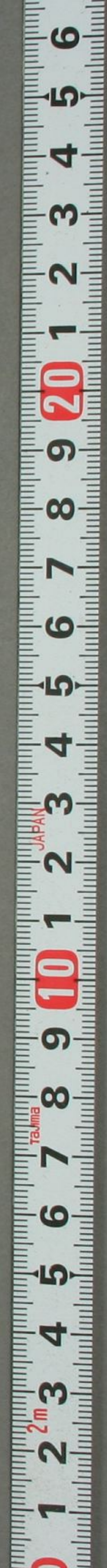


小學
校用
商業書

松田好生著

第一

ト 2
2908
/ 8



門卜 2
號 2908
卷 3



昭和49年6月7日
松田壽男氏
贈寄

49-1151

序

輒近我が國商業ノ漸ク發達スルニ後ニ全國商賈比其知能ヲ長養セザル可カラサルノ必要ヲ感ズルニ至レリ頃者松田氏業務煩忙ノ餘暇ヲ以テ商賈知能ヲ長養スルノ材料ニ供セシガ為メ一ノ商業教育書ヲ著述シ題シテ小學校用商業書ト曰フ將以テ之ヲ世ニ公ニセントス余素

高等商業學校教頭 成瀬隆藏 序

教育書專賣所 並月及

ヨリ氏が是道ニ熱心ニシテ人ヲ導リノ深切ナルヲ
 知ル故ニ今是書ニ對シテ流ラニ歎クノ稱賛ヲ為
 サズ一ニ取捨ヲ讀者ノ意向ニ任ス然ル所以ノ者ハ
 偏ニ目下必要ヲ感ズル商業教育書ノ相踵テ世ニ
 出ヅルヲ希フヲ以テ敢テ其說ノ淺深ト其書ノ大小
 トヲ問ハガルニ由ルナリ則チ此言ヲ以テ卷首ニ題ス

明治二十一年十一月

成瀬隆藏誌

小學校用商業書目錄

第一章	商業	四五
第二章	商人	一〇
第三章	商業ノ學問	一四
第四章	商家ノ德義	二〇
第五章	商業ノ要訣	三一
第六章	通貨	三九
第七章	度量衡	四九
第八章	賣買	五五

小學

商業書

第一

教育書專賣所並日及舎

第九章 借貸附金利

第十章 為替 六七

第二

第十一章 組合會社 一

第十二章 銀行 六

第十三章 運輸 二〇

第十四章 保險 三二

第十五章 代人 四三

第十六章 問屋仲買 四五

第十七章 手形 五四

第三

第十八章 郵便 一

第十九章 電信 九

第二十章 市場 一八

第二十一章 取引所 二一

第二十二章 帳簿 二八

第二十三章 公債證書及證券 三四

第二十四章 商標 四一

第二十五章 專賣特許及版權 四六

第二十六章 同業組合 五三

第廿七章 租稅
第廿八章 稅關

五七
七〇

目錄終

小學商業書第一

第一章 商業

松田好生 著

凡ソ商業トハ人々利益ヲ得ンガ爲メ物品ヲ賣
買交易スルコトヲ云フ、初メ此商業ノ起ルヤ專
物品ノ交換ニ在リ、蓋シ人トシテ自己ノ製産ス
ル物品ノミヲ以テ満足スルコト能ハズ、必ズヤ
我が有餘ノ物ヲ以テ他人ノ缺乏スル所ヲ補ヒ、
他人ノ有餘ノ物ヲ以テ我が缺乏スル所ニ充テ

自他雙方ノ便利ヲ爲シ、以テ始テ不自由ヲ感ゼザルニ至ルベシ、故ニ農ハ其産スル穀物ヲ以テ直ニ其要スル衣服ニ易ヘ、工ハ其作りタル器具ヲ以テ直ニ其要スル穀類魚肉等ニ換フ、何トナレバ譬ヘ農ハ米穀ニ餘リアルモ衣服ナケレバ寒ヲ凌グコト能ハズ、工ハ器具ニ餘リアルモ米穀ナケレバ以テ餓ヲ防グコト能ハズ、ユエニ交易アリテ後始テ生ヲ厚クシ用ヲ利スルヲ得ル、其利益實ニ大ニシテ苟モ人類ノ間ニハ須臾モ缺ク可カラザルモノナリ、然レドモ物品交易ハ

甚不便ナルモノナレバ、人文漸ク開クルニ及ベバ各國皆貨幣ヲ製シテ、交換ヲ圓滑ニシ以テ其不便ヲ避ク、是ニ於テカ從來物品ト物品トヲ交易シタルモノガ、物品ト貨幣トヲ交換スルコト、ナリ、賣買始テ起ル、既ニ賣買ノ行ハル、ニ及ンデヤ、物品交易ハ漸ク跡ヲ絶チ、尚ホ社會ノ進歩スルニ從テ商業ハ愈々繁盛ニ赴キ、邦内里村ハ論ナク、海陸運ノ業開クルニ及ベバ、遂ニ各國ノ間ニ通商交易ヲ始メ、我が國ニ在テ彼國ニ無ク、彼國ニ在テ我が國ニ無キ者ヲ互ニ交換シ、日本

ノ生絲ハ佛人ノ衣裳ト爲リ、日清ノ製茶ハ英米
 人ノ飲料ト爲リ、英國ノ鐵ハ米人ノ用フル所ト
 爲リ、米國ノ石油ハ我邦人ノ焚ク所ト爲ルガ如
 ク、互ニ産物ヲ他邦ニ提出シテ、彼我ノ有無ヲ相
 通ズルニ至ル、是即チ商業ノ活動ニシテ、人間ノ
 幸福ヲ増進スルモ、亦之ニ由ラズンバアラザル
 ナリ、
 商業ニ内外ノ別アリ、内國商業トハ我ガ國ノ産
 物ヲ、我ガ國內ニ於テ賣買取引スルモノヲ謂ヒ、
 外國貿易トハ外國ノ物品ヲ、我ガ國ニ取り寄セ

テ賣捌クカ、又ハ我ガ國ノ物品ヲ外國へ持出シ
 テ、賣捌クモノヲ謂フナリ、
 今我ガ國ト修好通商條約ヲ結ビ、互ニ往來貿易
 スル國々ハ、北米合衆國、大貌列顛、露西亞、和蘭、佛
 蘭西、葡萄牙、日耳曼、瑞西、白耳義、伊太利、丁抹、瑞典、
 及諾威、西班牙、澳地利、及匈牙利、布哇、支那、秘魯、又
 暹羅、朝鮮ノ諸國ニシテ、我ヨリ彼等ニ輸出スル
 物品ノ著名ナルモノヲ舉グレバ、生絲、茶、乾鮑、茸
 類、昆布、葉蓂、人參、鑛銅、漆器、陶器、寒天、蠟、樟腦、石炭、
 蠶卵紙、煎海鼠、手絹布、醬油等ニシテ、米モ亦近年

輸出ノ販路ヲ開キ、我が國輸出品ノ一トナレリ
 又彼等ヨリ我ニ輸入スル物品ノ、重要ナルモノ
 ヲ舉グレバ、木綿絲、生金巾、緋金巾、縮緬、吳呂、寒冷
 紗、天鵝絨、綿繻子、砂糖、熟鐵、熟皮、石油、洋酒、食料品、
 藥種、染料、硝子、鉛塊、時計等ノ類ナリ、而シテ是等
 ノ物品ヲ輸出入スルトキハ、横濱、神戶、長崎、函館、
 大坂、新潟ノ六港ヨリセザルベカラズ、之ヲ開港
 場ト稱フ、
 第二章 商人
 商人トハ商業ヲ營ム者ノ謂ニテ、詳カニ之ヲ云

ヘバ、甲乙ノ間ニ立テ利益ヲ得ンガ爲メ、常ニ物
 品ヲ賣買スル業務ヲ爲ス者ナリ、抑何人タリト
 モ商業ヲ營ムノ権利アルモノナレバ、政府ノ官
 吏、海陸軍人ノ如キ、特別ノ法律ニ因テ禁ゼラレ
 タル者ノ外、誰モ之ニ從事スルヲ得ルモノナリ、
 外國ニテハ有夫婦人、或ハ幼者ノ如キハ、商業ヲ
 營ムヲ得ザルノ法律アレドモ、我が國ニテハ從
 來斯カル法律モナケレバ、猶商業ヲ營ムコトヲ
 得ルモノナリ、
 英京倫敦府ニテハ夫アル婦人ト雖、商業ヲ營ム

コトヲ得ルノ習慣ナルガ大抵近年ニ至リ歐米諸國トモ益婦人ノ位置ヲ高メ其權利義務ヲ擴張シ以テ種々ノ業務ニ就カシムルノ風アリ商業ノ進歩スルニ隨ヒ其區域ハ愈擴マリ商人ノ内ニモ亦種々ノ業務ヲ分ツモノアルニ至ル即チ產地又ハ製造家ヨリ多量ノ物品ヲ買入レテ之ヲ小賣商又ハ其他ニ賣捌クモノヲ卸賣商ト云ヒ卸賣商又ハ製造所ヨリ少量ノ物品ヲ買入レテ之ヲ消費者ニ賣捌クモノヲ小賣商ト云フ小賣商ノ中ニモ物品ヲ店前ニ陳列シテ購客

ヲ待ツモノト物ヲ負擔シ得意先ヲ廻リテ之ヲ賣捌クモノトノ別アリ我が國ノ習慣ニテハ卸賣商ニシテ小賣業ヲ兼ネ其物品ヲ消費者ニ賣捌クモノアリ又小賣商ニシテ卸賣業ヲ兼ネ產地ヨリ物品ヲ仕入ルモノモアリ此他卸賣商ト小賣商ノ間又ハ製産家ト卸賣商トノ間ニ立テ賣買或ハ媒介ヲ爲スモノアリ之ヲ仲買商ト呼ズ又横濱神戸ノ如キ開港場ニハ外國ノ商人ト直取引ヲ爲ス者アリ即チ我が國産ヲ彼ニ賣リ附クル者ヲ賣込商ト曰ヒ彼ヨリ外國品ヲ買

と取ル者ヲ引取商ト曰フナリ、右ハ何レモ物品ノ賣買ヲ爲ス者ニ過ギザレドモ、商業彌、進歩スレバ其區域モ廣マリ、其關係モ煩雜ニ赴クガ故ニ、商人ノ中ニモ運送、銀行、保險等ノ如キ、諸業ヲ掌ドル者アルニ至ルモノナリ、

第三章 商業ノ學問

古來高買ハ卑賤ノ業ト見做サレ、商人ハ四民ノ後ニ列シテ人間ノ下等ニ位スル者ナリケレバ、自卑屈ニ安ンジ敢テ奮發スル者ナカリキ、其餘弊トシテ今日ニ至ルマデ、相應ノ資産アル商人

ト雖、敢テ其子弟ヲ教育スルコトヲ知ラザルハ、豈慨歎ニ堪フベケンヤ、故ニ今日ノ商人ニシテ能ク商事ニ通ジ、又能ク内外ノ事情ニ明カナルモノ、寥寥トシテ曉天ノ星ニダモ若カザルハ、實ニ國家ノ不幸ト謂ヒツベシ、從來商人ト爲ルモノハ大抵丁稚小僧ヨリ立身シテ、唯習字ト算術トノミヲ心得、夫ニテ充分ノ如ク思ハレタリシモ、今日ノ日本ハ昔日ノ日本ニ非ズ、商人モ亦自世ノ開進ト共ニ、學藝ヲ學ビ智識ヲ博メザレバ、決シテ當世ノ用ヲ爲スコト能ハズ、是ニ於テカ

我が國ニ於テモ夙ニ商業學校ヲ設立シテ、續々良商ヲ養成センコトヲ希圖セラレ、蓋シ西洋ニテモ從來見習生トテ幼少ヨリ商家ニ遣ハシ、實地取引ニ見習ハシメタルモノナルガ、夙ニ此方
法ノ迂遠ナルヲ悟リ、遂ニ商業學校ヲ設立シテ子弟ヲ教育スルコト、爲レリ、夫商業ノ學ハ其區域至テ廣ク且又煩雜ナルモノニテ、博ク之ニ通曉シテ高尚ノ商業學者ト爲ルハ、蓋シ容易ノ事ニ非ザルベシ、然レドモ其初學ニ於テハ先ヅ讀書、習字、作文、算術、簿記法等ヲ學ビ置キ、而シテ

後手紙ノ往復、證書ノ授受、商賣ノ諸勘定、及諸帳簿ノ記載ヲ能クスルコトヲ勤ムベシ、何トナレバ手紙ヲ書クコト能ハザレバ、遠方ノ人ト互ニ通信シテ商買上ノ契約ヲ爲スコト能ハズ、證書ヲ扱フコトヲ知ラザレバ、相互ノ義務權利ヲ確立スルコト能ハズ、算術ヲ知ラザレバ、商買上ノ勘定ヲ爲シ以テ損益ヲ知ルコト能ハズ、又取引ノ順序ヲ逐ヒテ、明細ニ記載シ事務會計ノ整頓ヲ謀ルニハ、簿記法ヲ學バザレバ能ハザルナリ、故ニ此四者ハ商業取引上、商人ノ必心得ザル可

カラザルモノナリ、然レドモ大ナル商業ヲ營ム
 ニハ此ノミニニテハ充分ナラズ、其他商法、經濟學、
 商業史、商工業地理學、税關規則等學ブ可キモノ
 甚ダ多シ、商法ハ、商業ノ規律ヲ教ヘ商人取引ヲ
 爲スノ手引ナリ、經濟學ハ、商人ノ判斷力ヲ養ヒ、
 商業ノ得失ヲ推測スルニ缺ク可カラザルモノ
 ナリ、商業史ハ、宇内各國商工業ノ程度及ビ其富
 強ニ赴キ、或ハ衰頹ヲ招クノ原因ヲ推究スルモ
 ノナリ、商工業地理學ハ、何レノ地ニ於テ如何ナ
 ル物品ヲ産シ、某物品ヲ買入レ若クハ之ヲ賣出

スニハ、何レノ地ニ於テスルヲ利アリトスルカ、
 且ツ運輸ノ便及商業上ノ關係等ヲ學ブモノナ
 リ、税關規則ハ、關稅ニ係ハル必要ノ事項ヲ教フ
 ルモノナリ、此他外國ト貿易スル商人ハ、英、佛、獨
 以、魯、清、朝鮮等ノ語學ヲ學ブコト肝要ナリ、啻ニ
 貿易商ノミナラズ、我が國近來外人ニ内地雜居
 ヲ許スノ議アリ、若果シテ然ラバ何種ノ商人ヲ
 問ハズ、英語ノ如キ普通ナル言語ハ豫メ學バザ
 ルベカラズ、否ラザレバ後來不便ヲ感ズルコト
 少クナラザルベシ、

第四章 商家ノ徳義

凡ソ商業ヲ營ムニハ、始終機敏ヲ要スルハ勿論ノ事ナレドモ、勉強、儉約及ビ誠實ノ三ハ、真ニ商家ニ必須ノ徳義ニシテ、商人タルモノハ常ニ之ヲ守リテ須臾モ戾ル可カラズ、何程商業ノ智識アル人ニテモ、此徳義ヲ缺クトキハ、到底世ニ出テ、名ヲ揚ゲ、商業ヲ繁盛ナラシムルコト能ハザルベシ、然レドモ徒ニ此徳義ヲ守ルノミニテ、更ニ商業ノ智識ナケレバ、是亦到底今ノ世ニ立テ商業ヲ營ムコト難キガ故ニ、商業ノ智識ト此

ノ徳義トハ、恰モ鳥ノ兩翼ニ異ナラズ、鳥ハ兩翼アリテ能ク飛ビ能ク翔ケルヲ得、商人ハ智識ト徳義トヲ兼備シテ、始テ家聲ヲ揚ゲ、商業ヲ擴張シテ富ヲ累ヌルヲ得ルモノナリ、故ニ今ヨリ商業ヲ以テ世ニ出デントスル少年輩ハ、須ラク先ヅ商業ノ智識ヲ得タル上ニモ、勉強、儉約、誠實ノ徳義ヲ守リ、兩翼ヲ全クスルコト肝要ナリ、何事ヲ爲スニモ勉強セザレバ成就スルコトナシ、商人タルモノモ勉強セザレバ、商業ノ繁榮ヲ招キ商利ヲ得ルコト能ハズ、彼ノ商店ヲ放却シ、

或ハ安坐シテ稗史ヲ讀ミ、或ハ碁ヲ圍ンデ單ニ
商品ノ監守ヲ爲ス者ノ如キハ、必商業ノ繁昌ヲ
希フベカラズ、店ノ閑暇ヲ人ニ示スハ、恰モ己ガ
商買ノ不景氣ヲ人ニ告グルニ異ナラズ、凡ソ世
人ノ物品ヲ買入ル、トキハ、繁昌ナル商店ニ就
テ求ムルヲ好ムモノナリ、何トナレバ繁昌ナル
商店ノ物品ハ、概ネ其品柄モ善ク又其價モ廉ナ
ルヲ常トスレバナリ、故ニ店ノ閑暇ヲ人ニ示ス
ハ、自然買客ノ減少スルコトヲ悟リ、譬ヘ爲スベ
キ業務ナキモ、商品ノ位置ヲ整フルカ、店ノ内外

ヲ掃除スルカ、何カ一事ヲ勤メ居ルベシ、又些細
ノ事ナリトモ已時間アルトキハ、雇人又ハ他人
ヘ委托セズシテ自コレヲ爲シ、何事モ自身率先
シテ勉強スベシ、然ルトキハ雇人モ自然業ヲ勵
ムニ至ルモノナリ、斯ク日々營業ニ熱心スル上
ハ、賣買取引ヲ怠ラザルコトハ勿論、常ニ帳簿ヲ
整頓シテ營業ノ損益、他人ヘノ貸借如何ヲモ精
算シ、受取ルベキモノハ期日ヲ過マラズシテ之
ヲ受取り、仕拂フベキモノハ期限ヲ違ヘズシテ
之ヲ拂渡スベシ、又取引先トノ信書往復ヲ迅速

ニシ、得意先へノ相場報告ヲ怠ラザル等、何事モ遺漏無ク勉強スベシ、

儉約ハ勉強ト竝ビテ大切ナルモノナリ、何程商業ヲ勉強シテ充分ノ利潤ヲ得ルトモ、奢侈ヲ極メ浪費ヲ顧ミザレバ、決シテ資本ヲ増殖スルコトナキノミナラズ、却テ出入相補ハズシテ積ムモノハ負債ノミト爲リ、遂ニハ産ヲ破リ身ヲ亡ボスニ至リ、平素ノ勉強モ効ヲ奏セズシテ空シク水泡ニ歸スベシ、故ニ苟モ世ニ出デ、富ヲ求メントナラバ、常ニ光陰ヲ貴ブコト、金錢ヲ重ン

ズルコトヲ忘ルベカラズ、凡ソ衣食住ニ驕ラントスルハ、人ノ常情ナレドモ能ク己ノ身代ヲ考ヘ、情ヲ節シ慾ヲ制シ、決シテ適度ヲ超ユベカラズ、看ヨ毎月壹圓ヲ徒費スルモ、一年ニハ拾貳圓ト爲リ、十年ニハ百貳拾圓ト爲ルニ非ズヤ、然ノミナラズ金錢ハ之ヲ運轉スレバ繁殖スベキモノニテ、今五圓ノ金モ之ヲ一轉シテ六圓ト爲シ、再轉シテ七圓ト爲スヲ得ベク、些少ノ金錢モ漸ク積ミテ巨額トナル故ニ、假令ヘ壹圓ヲ徒費スルモ唯壹圓ノミニアラズ、其利子ヲモ併セテ失

フタルモノナリ、必輕卒ニ消費スベカラズ、概ネ
 我が邦人ハ儉約ノ念慮ニ乏シクシテ、收入ノ金
 額ハ盡ク之ヲ消費スルガ如キモノ多シ、若シ商
 人ニシテ此ノ如クナレバ決シテ資本ヲ増殖ス
 ルコトナク、遂ニハ負債ヲ起スニ至ルベシ、彼ノ
 支那人ノ如キハ微々タル商賈ニシテ、僅々數年
 ノ間ニ莫大ノ資本ヲ造出スルモノ多キニ非ラ
 ズヤ、畢竟強忍不拔ノ精神アリテ、能ク儉約ヲ行
 フガ故ナリ、世ニハ儉約ナル人ヲ指シテ吝嗇ナ
 ル者ノ如ク見做ス者ナキニアラズ、是大ナル謬

見ニシテ儉約ト吝嗇トハ、全ク其性質ヲ異ニシ
 自霄壤ノ差違アルモノトス、儉約トハ人々慾情
 ヲ制シテ、金錢ヲ浪費セザルノ美德ヲ稱スレド
 モ、吝嗇ハ義理ヲモ守ラズ、耻辱ヲモ省ミズシテ、
 徒ニ金錢ヲ貪ルノ惡徳ヲ云フナリ、即儉約ハ最
 尊ムベク、最稱スベキ行ナレドモ、吝嗇ハ最卑ム
 ベク、最惡ムベキ行ナリ、故ニ儉約ヲ行フモノハ、
 毫モ吝嗇ニ類スルガ如キ所行ヲ爲サズ、授クベ
 キモノハ即授ケ、與フベキモノハ即與フベシ、而
 シテ勉強以テ光陰ヲ徒消セズ、儉約以テ金錢ヲ

浪費セザレバ、必富ヲ得ルニ庶幾カラシ、
誠實ハ商人ノ最重ンズベキモノナリ、何人モ誠
實ナラザレバ信用ヲ受クルコト能ハズ、商人ニ
シテ信用ナキトキハ、衆人ノ愛顧ヲ得テ商業ノ
繁昌ヲ望ムコト能ハズ、故ニ苟モ信用ヲ得ント
ナラバ、專誠實ヲ主トシテ約束ヲ違ヘズ、詐欺ヲ
行ハズ、拂フベキ金額アルトキハ、期限ヲ違ヘズ
シテ之ヲ拂ヒ、約束シタル時日刻限ハ決シテ之
ヲ過ラズ、品物ニ疵アレバ明カニ之ヲ示シ、度量
ニ不足アレバ詳カニ之ヲ告グルガ如ク、何事ニ

モ誠實ヲ以テスベシ、然ルトキハ譬へ目前ノ小
利ヲ得ルコトナキモ、大ニ世人ノ好評ヲ博シテ
買客日ニ増加シ、販路月ニ開通シテ其得ル所ノ
利潤ハ計リ知ルベカラズ、之ニ反シテ買客ニ向
テ惡品ヲ良品ト詐リ、買客ノ目ヲ眩シテ贗物ヲ
發賣シ、或ハ不當ノ價直ヲ唱ヘテ利ヲ貪ルガ如
キ、不誠實ノ所行アラシカ、人々皆之ヲ惡ミ復其
家ニ就キテ、物品ヲ買フモノナキニ至ルヤ明カ
ナリ、是ゾ商業ノ衰微ヲ招ク徵候ニシテ、苟モ遠
キ慮アル商人ノ爲ス所ニアラズ、譬へ商業ノ競

争盛ニシテ徒ニ廉價ヲ主トスルニ際シテモ粗
造ノ物品ヲ以テ代價ノ廉不廉ヲ競フベカラズ
必誠實ヲ旨トシテ飽マデ物品ノ精巧ト廉價ヲ
以テ争フベシ、是即競争ニ勝ツノ徴ニシテ、世人
ノ信用ヲ得ルノ基ナリト知ルベシ、況ンヤ商業
社會ノ信用ヲ得ルトキハ、何時ニテモ金銀ヲ借
用スルヲ得ベク、返濟ノ期限至リテモ債主ヨリ
暫ク猶豫ヲ許スコトモアルベク、又代金ヲ拂ハ
ズトモ掛ニテ物品ヲ買入ル、コトヲモ得ルニ
至ル、即他人へ渡スベキ金額ヲ我ガ手許ニ止置

クヲ得ルモノニテ、其間ノ金利ハ無論我ガ所得
トナル、信用ハ金ナリト曰フハ實ニ確言ト謂ヒ
ツベシ、商業社會ニ信用ノ貴重スベキコト夫斯
ノ如シ、故ニ商人ト爲リ世ニ出デ、名ヲ揚ゲ、商
業ヲ擴張シテ富ヲ累ネンコトヲ希フ少年輩ハ、
勉強シテ儉約ヲ行ヒ、且誠實ノ二字ヲ忘レザル
コト緊要ナリ、

第五章 商業ノ要訣

前章ニ述タル如ク、勉強、儉約、誠實ノ三ハ實ニ商
家ニ大切ナル徳義ニシテ、商業ノ智識ト相俟テ

用ヲ爲スコト、猶鳥ニ兩翼アルガ如シ、然レドモ
商業ニハ種々ノ要訣アルモノナレバ、之ヲ熟悉
セザレバ折角ノ勤勞モ、容易ク効ヲ奏セザルベ
シ、
先ヅ開業ニ當リテハ、店舗ノ位置ヲ撰ブコト甚
肝要ナリ、世ニハ地價若シクハ家賃ノ廉ナルニ
迷ヒ、不適當ナル位置ニ開店シテ、此地ハ不可ナ
リ彼地ハ適當ナリトテ、屢、移轉スルモノアルハ
大ナル失錯ナリ、蓋シ商業ハ其位置ヲ得ルニ非
ザレバ、人目ニ觸レズシテ物品ノ販賣ニ便ナラ

ス、世人ヲシテ其家聲ヲ聞カシムルマデニハ、其
店ヲ維持スルコト能ハズシテ空シク閉店セザ
ルヲ得ザルニ至ルベシ、故ニ當初開店スルトキ
ハ假令地價家賃ハ高クトモ、其商業ニ適應シタ
ル位置ヲ精撰シ、一タビ開業セバ永ク其地ヲ變
ゼザルニ注意スベシ、何トナレバ一場ニ於テ數
年ノ星霜ヲ經テ家聲ヲ揚ゲタルモノ、一旦他
所へ移轉スレバ是マデノ買客ヲ失ヒ、新ニ開業
スルト異ナルコトナク、再タビ從前ノ如キ買客
ヲ得ルニハ、復數年ノ星霜ヲ費ササル可カラサ

レバナリ、又世ニハ務メテ同業者ノ少ナキ地ヲ
求ムルモノアレドモ、其業ニ依リ却テ同業者ノ
多キ處ヲ可トスルナリ、其故ハ世人ノ物品ヲ購
求セント欲スル者ハ、特ニ同業者ノ多キ市街ニ
來集スルヲ常トスレバナリ、

既ニ開店シタル以上ハ、店内ハ勿論店前トモ常
ニ洒掃シテ美麗ニ粧飾スベシ、塵ノ商品ニ滿チ
芥ノ店前ニ堆キガ如キトキハ、商買ノ繁昌スル
モノニアラズ、貴女紳士等ハ殊ニ之ヲ忌ムモノ
ナリ、

商人タルモノハ買客アレバ、其人ノ品位如何ヲ
論ゼズ、愛敬ヨク之ヲ接待シ、決シテ短氣ノ心ヲ
出スベカラズ、愛敬トハ徒ニ追從ヲ言ヒ世辭ヲ
述べ、買客ノ好意ヲ乞フノ謂ニアラズ、買客ヲ親
切ニシテ丁寧ニ接待スルコトナリ、凡ソ我が國
ノ商人ハ買客アレバ世辭ヲ述べ虚禮ヲ行ヒ、或
ハ茶ヲ進メ杯スル所サヘアレドモ、商業繁劇ノ
國ニテハ、商人ハ甚多忙ニシテ世辭ヲ述べ虚禮
ヲ行フガ如キ閑暇ナク、常ニ時間ハ金ナリト言
フ程ナレバ、買客アルトキハ愛敬ヨク簡明ニ問

答スルヲ常トス、是我ガ商家ノ注意スベキ所ナ
リ、
商品ノ陳列ハ時々其位置ヲ變ヘテ、務メテ衆人
ノ眼ヲ轉ズル様ニ爲スベシ、常ニ同一ノ物品ヲ
同一ノ所ニ陳列シ置クハ、其店ノ不繁昌ヲ人ニ
示ス所以ニシテ、商買ノ衰微ヲ招クノ徵ナリ、又
之ヲ陳列スルニハ、能ク衆人ノ目ニ觸レテ、需用
多キ物品ヲ店前ニ排置シ、買客ヲ引クノ工夫ヲ
爲スベシ
既ニ述ベタル事ハ、大概店前ヲ通行スル人ヲ引

クノ方便ニシテ、此方便ノミニテハ、自家ノ名聲
ヲ揚グルニ甚遲鈍ナレバ、自許多ノ歲月ヲ經ザ
ル可カラズ、故ニ自家ノ商業ヲ世ニ廣布シテ、續
々新客ヲ引クノ方便コソ肝要ナレ、其方便ノ最
敏捷ナルハ新聞紙ノ廣告ニ如クモノナシ、西洋
諸國ニテハ、商家ノ名ヲ博ムルニ專新聞紙ヲ利
用スルコトナルガ、我が國ニテモ近年漸ク新聞
廣告ノ必要ヲ知リテ、諸新聞雜誌ニ廣告スルモ
ノアレドモ、多クハ一部ノ商人ニ限リテ未全體
ノ商家ニ及バザルガ如シ、是我ガ商家ノ未新客

ヲ引クノ方便ヲ知ラザルモノ多キ所以ナリ、凡新聞紙ノ廣告ハ、專衆人ノ注目ヲ促スノ具ナレバ、成ベク新ヲ競ヒ奇ヲ闘ハシ、種々ノ方案ヲ盡スヲ良シトス、其文章ハ必シモ華美ヲ要セズ、唯文意明瞭ニシテ誰人ニモ貫徹スレバ充分ナリ、譬へ數週日間廣告シテ、若干ノ廣告料ヲ費スト雖、其効驗ノ著シキモノナレバ、他日ニ至リ唯其費用ヲ償フノミナラズ、許多ノ利益アルハ論ヲ待タザルナリ、故ニ西洋ノ商家ニハ新聞廣告ノ爲、其資本ノ一部分ヲ費シテ悋ナラズト云フ、

新聞廣告ノ外、引札ヲ配布シテ廣告シ、或ハ湯屋理髮店ノ如ク人ノ集會スル所ニ貼紙ヲ爲シ、或ハ往來繁キ路傍ニ立札ヲ爲ス等種々ノ方法アリテ、何モ多少ノ効驗アルベケレドモ、未新聞廣告ノ宏益アルニ如カズ、又豫テ自家ニ於テ販賣スル、物品ノ名ト定價トヲ記載シタル目錄ヲ印刷シ置キ、物品ヲ賣ルニ臨ミテ之ヲ添へ、若クハ賣品ヲ包ミテ買客ニ與フルモ、亦良キ方便ナリト謂フベシ、

第六章 通貨

第一章ニ述タル如ク、草昧未開ノ世ニ在リテハ
往々通用貨幣無ク、人々其有餘ノ物品ヲ以テ、直
ニ其需要スル物品ト交換ス、之ヲ物品交易ト云
フ、例令ヘバ甲アリ魚肉ヲ要スルトキハ、其所持
スル米穀ヲ與ヘテ、乙ノ魚肉ト交換スルガ如シ、
其不便ナルコト云フ可カラズ、何トナレバ今甲
ハ魚肉ヲ以テ米穀ト交換セント欲スル者ヲ探
索セザルベカラズ、既ニ探リ得タル後ハ、幾許ノ
米穀ヲ以テ魚肉ニ易フベキヤヲ斷定スルハ、甚
困難ナルベシ、此ノ如キ勢ニテハ商業ノ發達セ

ザルハ勿論ナリ、故ニ一般人民ノ希望スル物品
ヲ撰ビ、之ヲ以テ普ク諸物ト自由ニ交換シ得ル
者ヲ定ムルニ至レリ、此目的ニ依リテ用フル所
ノ物品一樣ナラズ、未開ノ時ニ在リテハ、或ハ家
畜ヲ以テシ、或ハ貝殻ヲ以テシ、或ハ海鹽ヲ以テ
シ、或ハ獸皮ヲ以テスル等アリ、我が國ノ如キモ、
古代ハ稻米布帛等ヲ以テ、交易ノ媒介ト爲セリ
ト云フ、然レドモ人智漸開クルニ至リ、萬國ノ人
民皆金銀ノ最之ニ適スルヲ發見シ、終ニ貨幣ヲ
製シテ之ヲ通用シ、以テ一ハ諸物價ヲ量ルノ權

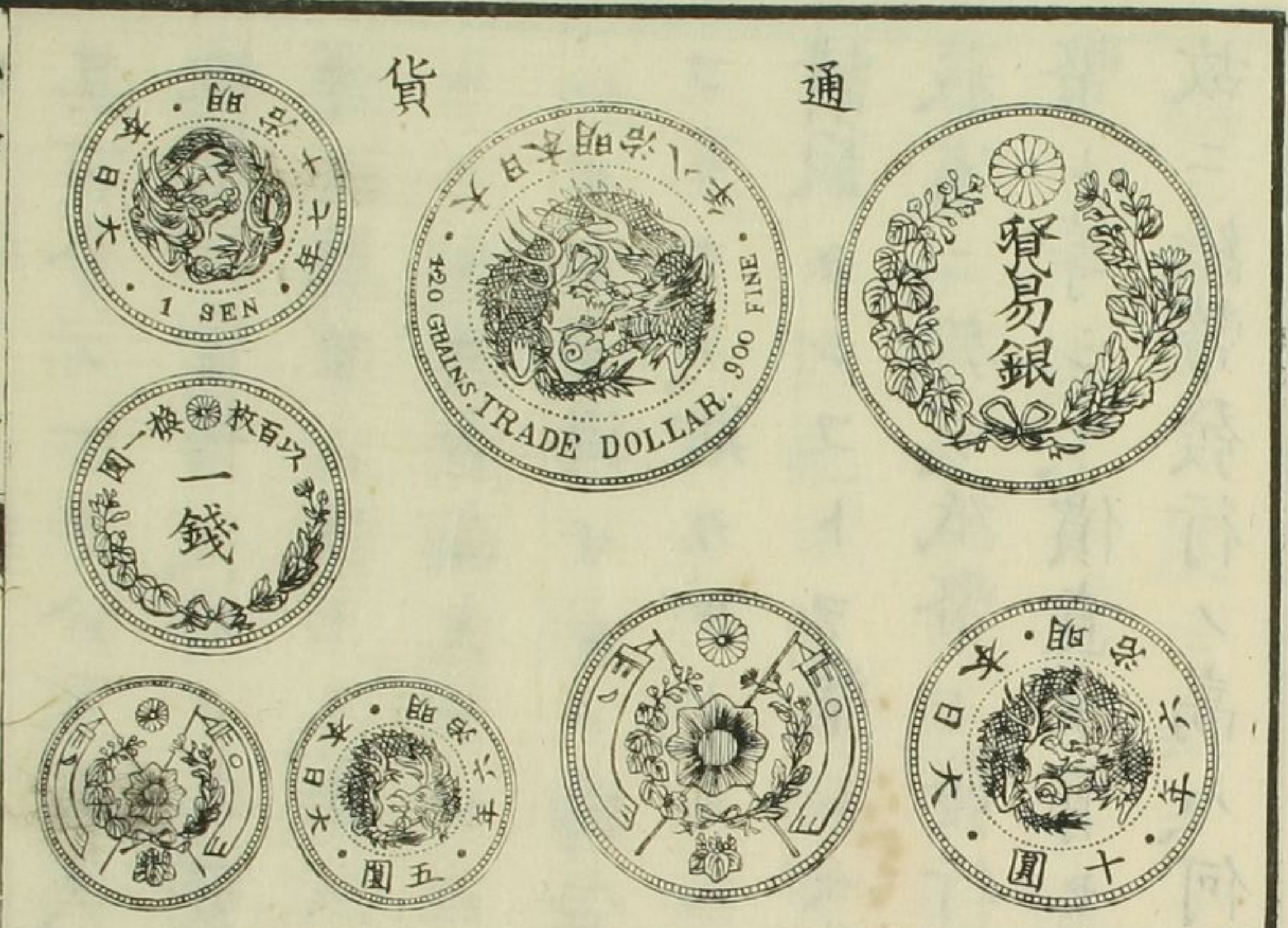
衡ト爲シ、一ハ交易ノ媒介ト爲セリ、抑金銀ノ貨幣ト爲シテ、他物ニ優ル所以ヲ舉ゲンニ、第一其容量小ニシテ大ナル價直ヲ有シ、運搬携帶ニ便ナルコト、第二其價直恒アリテ大ニ昂低セズ、概平等ナルコト、第三其質堅固ニシテ損減スルコト少キ等ノ數件ナリ、且金銀ハ其産出少クシテ限リアリ、加フルニ美麗ナルヲ以テ、各國皆金銀ヲ撰ビテ貨幣ト爲シ、以テ交換ノ媒介トスル所以ナリ、貨幣一タビ世ニ出ヅレバ、復物品ト物品トヲ比較シテ、其價格ヲ定ムルコトヲ要セズ、貨

幣ヲ以テ之ヲ賣リ貨幣ヲ以テ之ヲ買フヲ得ル、其便甚大ニシテ通商交易モ、之ニ由リテ始メテ圓滑ナリト謂ヒツベシ、然ルニ金貨ノ如キハ、之ヲ些少ノ賣買ニ用フルハ、極メテ不便ナルベシ、例ヘバ拾錢ノ金貨ヲ造ルトキハ、其形體頗ル微妙ニシテ之ヲ取扱フハ實ニ不便ナリ、且常ニ紛失ノ恐アルベシ、之ト等シク壹錢ノ銀貨ヲ造ルトキハ、其形實ニ小ナルベシ、故ニ此等ノ不便ヲ避ケンガ爲、銀銅ヲ以テ金ノ補助貨ト爲セリ、此ノ如ク銀銅貨ハ、元來些少ノ取引ヲ辦ズル爲ノ

モノナレバ、取引上一定ノ制限アルハ勿論ナリ、
 英國ニテハ、金貨ヲ以テ價直ノ本位ト爲スガ故
 ニ、債主ト結約ノ上ニ非ザレバ、銀貨ハ四十シ
 リングス、銅貨ハ一シルリング以上ノ代價ノ仕
 拂ニ用フルコトヲ許サズ、我が國ニテハ、壹圓金
 ヲ以テ本位中ノ原貨ト定メラレ、各種トモ其通
 用ニ制限ナシ、銀銅貨ハ金貨ノ補助ニシテ、銀貨
 ハ其一種又ハ數種ヲ併セ用フルトモ、一口ノ仕
 拂ニ拾圓マデ、銅貨ハ一口ノ仕拂ニ壹圓マデヲ
 限リトセリ、然レドモ相互ノ談合ニ由レバ、此制

限ニ拘ハラズ隨意ニ仕拂スルモ更ニ差支ナシ、
 價直復本位トハ金銀貸借上ニ於テ、借主ガ其負
 債ヲ拂フニ、金貨ヲ以テスルモ、將銀貨ヲ以テス
 ルモ、其時ノ都合ニ依リテ爲スヲ得ルノ法ナリ、
 其不利ナルコト明カナリ、例ヘバ或事情ニヨリ、
 銀貨ノ價直俄ニ下落スルコトアレバ、借主ハ銀貨
 ヲ以テ仕拂スルヲ利アリトスルガ故ニ、必銀貨ヲ
 以テ返済スベシ、然ルトキハ之ヲ借用シタルト
 キト、之ヲ返済スルトキトノ銀貨ニ差異アルガ
 故ニ、金銀貸借上ノ約束ハ、全ク錯亂シテ商買上

一方ナラザル困難ヲ生ズベシ、是復本位ヲ用フ
 ルノ弊害ニシテ、單本位ヲ採用スル國ニ於テハ、
 金銀貸借上ニ及ボス變動ハ、唯本位貨幣ニ昂低
 アル時ノミナレバ、其弊ハ復本位ニ比スレバ、少
 キコト幾何ナルヲ知ラズ、又我が國ハ貿易銀ト
 云フモノアリ、是ハ元來各開港場ニ於テ、通商ノ
 便利ヲ謀リ鑄造サレタルモノニテ、海關稅、外人
 ヨリノ納稅、及内外人ト賣買取引ニ用フベキハ
 勿論、公私一般ノ通用ト爲レリ、今外國貨幣ヲ吾
 ガ貨幣ニ比較センニ、米金ノ一弗^{ドル}ハ我が銀貨ノ



一圓ニ當リ、其百分ノ一
 ヲ仙^{セン}ト云ヒ、英金ノ一磅^{ポンド}
 ハ凡我が四圓八拾四錢
 ニ當リ、其二十分ノ一ヲ
 志^{シテ}ト云ヒ、志ノ十二分ノ
 一ヲ片^{ペン}ト云フ、佛金ノ一
 法^{ゾク}ハ凡我が貳拾錢ニ當
 リ、其百分ノ一ヲ參^{サン}ト云
 フ、又清金ノ一兩^{リョウ}ハ凡我
 ガ壹圓五拾六錢ニシテ、

其百分ノ一ヲ分ト云フ、

紙幣ハ貨幣代用ノ爲發行シタルモノニテ、大ニ運送携帶ニ便ナリ、例ヘバ銀行ヨリ正貨ヲ請取ルトキ、其金高大ナレバ之ヲ持運ブニ、人夫ヲ雇ハザルヲ得ザルノ場合アルガ如ク、甚不便ナルコトアリ、斯カルトキハ人々正貨ノ代ニ、紙幣ヲ請取ランコトヲ望ムベシ、然ルニ銀行若クハ大藏省ニ於テ、紙幣ノ發行其度ヲ過グルトキハ、貨幣ト等シキ、價直ヲ有セザルニ至ルハ勿論ナリ、故ニ紙幣發行ノ高ハ、何時ニテモ貨幣ヲ以テ、兌

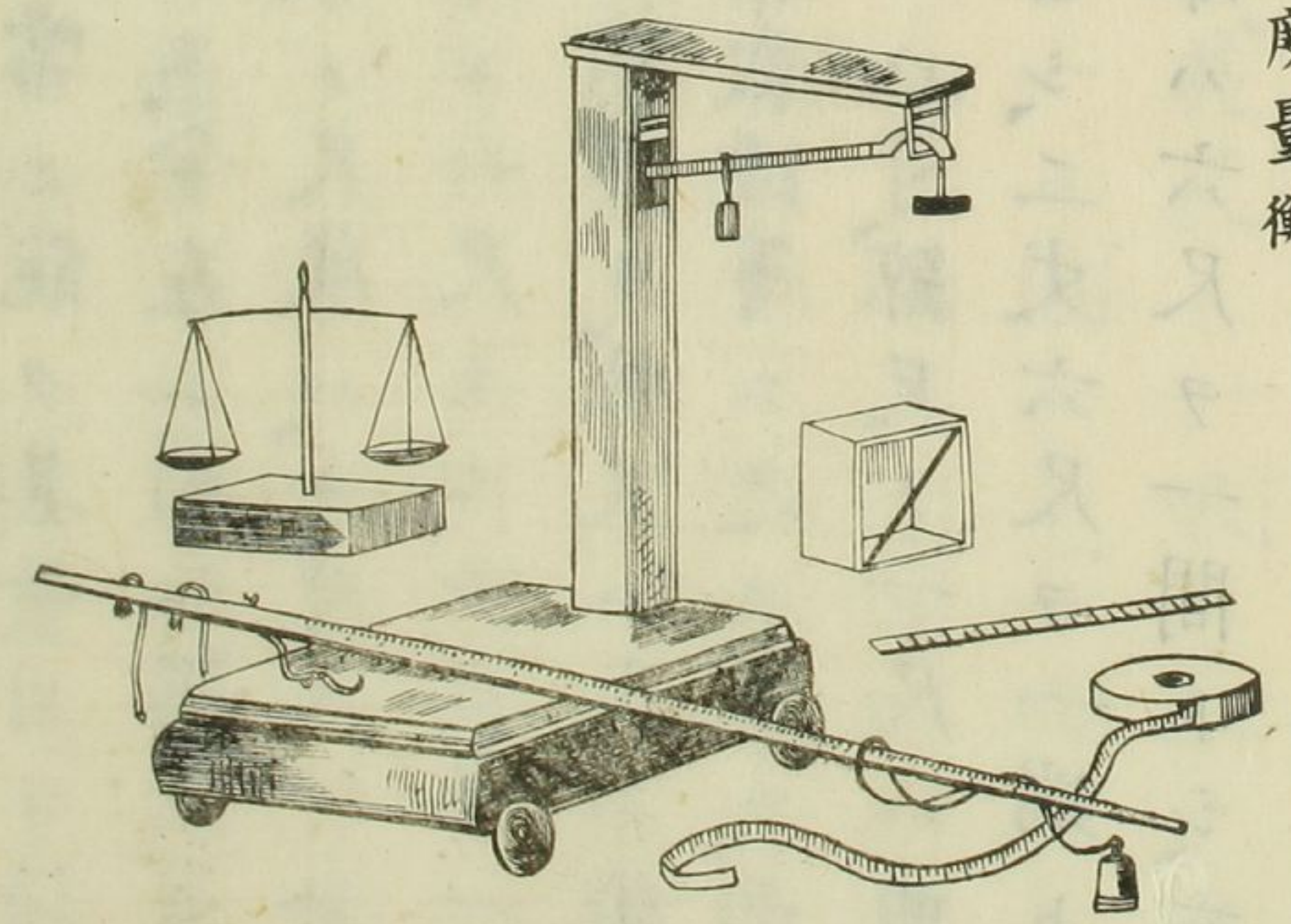
換シ得ルノ度ニ止マラズンバ、貨幣ト平價ヲ保ツコト能ハズ、若シ平價ヲ保タズシテ、彼此ノ間ニ差ヲ生ズルニ至ラバ、賣買上ニモ貸借上ニモ大ナル錯亂ヲ生ジ、商買ハ勿論其他諸般ノ業ニモ、大ナル不幸ヲ來スベシ、我が國ニテモ數年來、大ニ紙幣ノ下落ヲ來セシコトアレドモ、大藏大臣ノ財政其宜ヲ得、今日既ニ銀貨紙幣ト同一ノ價ニ歸シ、民業大ニ便利ヲ得タルハ、豈賀スベキ事ニ非ズヤ、

第七章 度量衡

物ノ長短ヲ知ラント欲セバ、度ヲ用ヒザル可カラズ、物ノ多少ヲ知ラント欲セバ、量ヲ用ヒザル可カラズ、物ノ輕重ヲ知ラント欲セバ、衡ヲ用ヒザル可カラズ、故ニ度量衡ノ三器ハ、百貨ノ平均ヲ知ルノ要具ニシテ、賣買上須臾モ缺ク可カラザルモノナリ、然ルニ世上ニハ往々紛ハシキ度量衡アリテ、動モスレバ詐欺ヲ施シ易キヲ以テ、我が政府ニ於テハ、去ル明治九年二月ヲ以テ、度量衡規則ヲ發布シテ、三器ノ制ヲ定メラレタレバ、今日商買上ニ用フル三器ハ、必官ノ檢印ヲ捺

シタルモノニアラザル可カラズ、假令ヘ我が國ノ量目ヲ西洋形ノ權衡ニ割直ストキモ、亦必大藏省ノ極印ヲ受クベシ、若シ此三器ヲ偽造シ、又變造シタルモノハ、嚴罰ニ處セララル、モノナリ、既ニ述ベタル如ク、度量衡ハ實ニ商業上必要ノ

度量衡



小學商業書 第一 五十一 教育書 賣所 普及 舎

具ナレバ、商人タルモノハ常ニ能ク其量目ヲ諳、
 ジ置クヲ以テ肝要ナリトス、今左ニ内外國度量
 衡ノ大要ヲ擧ゲンニ、日本ノ尺度ハ、十厘ヲ一分
 トシ、十分ヲ一寸トシ、十寸ヲ一尺トシ、十尺ヲ一
 丈トス、尺度ニ曲尺、鯨尺ノ別アリ、曲尺ハ大工鍛
 冶等之ヲ用ヒ、鯨尺ハ布帛裁縫等ニ之ヲ用フ、而
 シテ曲尺ノ一尺ハ鯨尺ノ八寸、鯨尺ノ一尺ハ曲
 尺ノ一尺二寸五分ニ相當シ、二丈六尺ヲ一端ト
 シ、二端ヲ一匹ト云フ、距離ハ六尺ヲ一間トシ、六
 十間ヲ一町トシ、三十六町ヲ一里トス、又地面ハ

一間四方ヲ一步トシ、三十步ヲ一畝トシ、十畝ヲ
 一反トシ、十反ヲ一町トス、英尺ノ一呎ハ九ソ我
 ガ一尺ニシテ、其十二分ノ一ヲ因トシ、一碼ハ九
 ソ我が三尺ニ當リ、一哩ハ九ソ我が十四町四十
 五間ニ當ル、又佛尺ノ一米突ハ九ソ我が三尺三
 寸ニ等シク、清尺一尺ハ九ソ我が曲尺一尺二寸
 四分三厘ニシテ、一里ハ九ソ我が五町十七間四
 尺九寸五分ニ等シ、
 斗量ハ、十圭ヲ一撮トシ、十撮ヲ一抄トシ、十抄ヲ
 一勺トシ、十勺ヲ一合トシ、十合ヲ一升トシ、十升

ヲ一斗トシ、十斗ヲ一石トス、
 衡量ハ、十弗ヲ一毛トシ、十毛ヲ一厘トシ、十厘ヲ
 一分トシ、十分ヲ一匁トシ、千匁ヲ一貫目トス、斤
 ハ其種類多シト雖モ、通例百六十匁ヲ以テ一斤
 トス、英量一^{ポンド}封度ハ九ッ我ガ百二十匁九分一本ハ
 九ッ我ガ十三貫五百四十七匁五分、一噸ハ九ッ
 我ガ一百七十貫九百五十匁ニ當リ、佛量ノ一^{キログラム}基
 ハ九ッ我ガ二百六十六匁ニ當リ、清量ノ一^{ピカル}擔ハ
 九ッ我ガ十六貫二百四十三匁ニシテ、其百分ノ
 一ヲ^斤ト呼ブ、九ッ衡量ニハ、桿秤、天秤ノ二種ア

リテ、桿秤ニモ大中小ノ別アリ、西洋形ニハ、基秤、
 書翰秤、羅馬秤等アリ、

第八章 賣買

九ッ賣買トハ、通貨ヲ以テ定メタル代價ニテ、甲
 ヨリ乙ニ、或財産ヲ譲リ渡スベシト契約シタル
 モノナリ、此契約ニハ證書ヲ要スルコトアリ、又
 要セザルコトアリ、總テ貨物ノ賣買ニハ、證書ヲ
 用ヒザルヲ常トスト雖モ、土地、家作、公債、株式、杯
 ノ賣買ニハ、必賣買證文ヲ作り、證券印紙ヲ貼用
 スルモノナリ、又地所、建物、船舶ヲ賣買讓與スル

トキハ勿論之ヲ質入書入セントスルトキモ、必
公證人ノ公證ヲ以テ、登記ヲ請フベキモノトス、
夫世上ニハ、大ナル心得違ノモノアリテ、往々契
約ヲ疎漏ニシテ、遂ニ之ガ爲、雙方紛紜ヲ生ジ、裁
判所ヲ煩シテ貴重ナル時日ト、莫大ノ費用トヲ
損失スルモノ少カラズ、豈猛省セザル可ケンヤ、
世ニハ奸曲ノ商人アリテ、往々契約書ノ疎漏ニ
乘ジテ、不正ノ利ヲ得ントスルモノアリ、故ニ平
生商業上ノ契約ヲ爲ストキ、相手ハ大抵詐偽者
ナリト覺悟シテ、必ズ正當ノ手續ヲ盡シ置キ、後

日ノ災害ヲ防グコト肝要ナリ、抑賣買ノ契約ヲ
爲スニ三要件アリ、即契約ノ主眼タル物品、代價
及雙方ノ承諾是ナリ、夫賣買ヲ約スルトキハ、代
金ト引替ニ物品ヲ渡スベキハ當然ナリ、故ニ契
約ヲ結ブ時、其物品ハ現ニ存在シテ、何時ニテモ
引渡スヲ得ルモノニアラザル可カラズ、若其品
物存在セザル時ハ、賣買契約ノ完結シタルモノ
ニアラズ、例ヘバ甲アリ其所持スル馬ヲ乙ニ賣
ルニ當リ、馬既ニ死シタルコトヲ雙方知ラズシ
テ、賣買シタル場合ノ如キハ、契約ノ成立チタル

モノニアラズ、代價モ亦賣買ノ契約ニ必要ナル
元素ニシテ、必通用金ヲ以テ之ヲ定ムベク、其拂
方ハ現拂タリトモ、又ハ後拂タリトモ、偏ニ雙方
ノ契約次第ナリ、賣買スルトキ、又ハ賣買ノ契約
ヲ結ビタルトキ、若物品ノ代價ヲ約定セザルト
キハ、其時ノ相當ナル市價ヲ以テ、代價ヲ拂フベ
キモノト知ルベシ、又賣買契約ハ一方ノ者發言
シテ、他ノ一方ノ者之ヲ承諾スルトキ、始テ完了
スルモノナルガ故ニ、一方ノ發言セシコトヲ、他
ノ一方ガ之ニ合意セシトキニ非ザレバ、雙方ノ

承諾アリシモノト云フ可カラザルナリ、斯ノ如
ク雙方ノ承諾ナケレバ成立ザルガ故ニ、承諾ノ
ナキ間ハ隨意ニ破談スルモ、更ニ差支ナキモノ
ナリ、
見本ヲ以テ賣買ヲ約スル時ハ、其現物ハ見本ト
同様ナルコトヲ、賣人ニ於テ保證シタルモノナ
レバ、若現物ノ見本ト相違スルトキハ、破談ト爲
シテ、買人ヨリ相當ノ時間内ニ、之ヲ賣人ニ差戻
スベキ權利アルモノト知ルベシ、
賣買ノ契約既ニ整ヒタル後、賣人ノ爲スベキ義

務ハ其賣リタル物品ヲ買人ニ引渡スコトナレ
 バ、其時日至レバ、物品ヲ整頓シテ引渡ノ用意ヲ
 爲シ、若賣人ヨリ其物品ヲ送致スルノ契約ナレ
 バ、時日ヲ違ヘズシテ之ヲ送致スベシ、蓋預メ引
 渡ノ場所ヲ約セザルトキハ、當時物品ノ在ル所
 ト定ムベシ、物品ヲ送致スルコトヲ約シテ、其時
 日ヲ定メザルトキハ、相當ノ時日内ニ送致スル
 コトヲ約セシモノト見做スベシ、又物品引渡ノ
 トキ、買人ニ於テ其物品ヲ検査スルトキハ、故障
 ナク之ヲ許スベシ、而シテ賣人ヨリ物品ヲ引渡

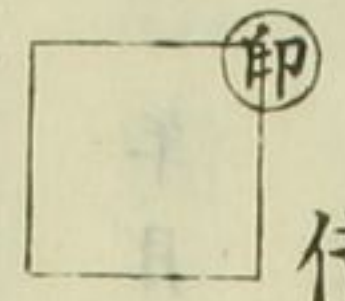
ストキ、猶豫ナク之ヲ引取り、代金ハ定メタル時
 日ト場所トニ於テ、仕拂フベキコトヲ以テ、買人
 ノ義務ト爲スベシ、

第九章 借貸附金利

凡ソ借貸ハ、商業上免ルベカラザルノ方便ニシ
 テ、常ニ取引先トノ間ニ、借貸ヲ生ズルコトハ勿
 論、何程富裕ノ商人ト雖モ、金融ノ都合悪ケレバ、
 負債ヲ生ゼザルベカラザル場合アルベシ、借貸
 ニ信用貸、抵當貸ノ二種アリテ、信用貸トハ、貸主
 ニ於テ借主ノ必償還スベキヲ信用シテ、貸與ス

ルモノヲ謂ヒ、抵當貸トハ、貸主ニ於テ借主ヲ信用セザルガ故、抵當物ヲ差入サセテ貸與スルモノヲ謂フナリ、斯ク金錢ヲ借用スルトキ、其報酬トシテ借主ヨリ歩合ヲ以テ、貸主ニ拂フベキ金錢ヲ名ケテ、利子又ハ利息ト云フ、利子ニ單利、複利ノ別アリテ、單利トハ、元金ヨリ生ズル利子ノ外、假令ヘ利子拂渡期限ヲ經ルトモ、別ニ利子ヲ加ヘザルモノヲ云ヒ、複利トハ、期限ヲ過ル毎ニ、利子ヨリ更ニ利子ヲ加フルモノヲ云フ、又日歩利ト稱スルモノアリ、是ハ商業上數日間ノ、金融

借用證書

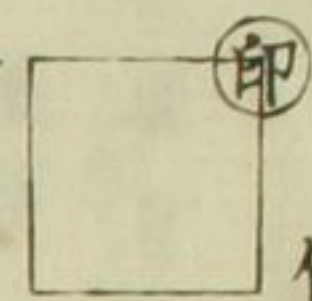


一金何程也

右之通金員受取借用仕候處實正也然上ハ一ヶ月ニ付何歩何厘(即ち金拾圓ニ付何拾何錢何厘)の利子と加へ來明治年月日限り無相違元利皆納可仕候借用金證書仍て如件
年月日 借主 氏名印 住所 氏名殿

ヲ辨ズル爲ノ貸附金ニ課スルヲ常トス、凡ソ世ノ商業活潑ニシテ、好景氣ヲ呈スルトキハ、貨幣ノ需要多キガ故ニ、金錢ノ融通頻繁トナリ、金利騰貴スルヲ常トス、之ニ反シテ商業澁滯シテ不景氣ノ色アルトキハ、貨幣ノ需要少キガ故ニ、金錢ノ融通緩漫トナリ、金

借用金證書



一金何程也

此抵當

何程

右之通金員正受取借用仕候處確實也然上ハ一ヶ月付何程歩何厘(即ち金拾圓)付何程の利子を加へ來明治年月日限り元利皆納可仕候依て前記抵當差入證人連署と以て借用金證一札如件

年月日 借主 氏名 印 住所 證人 氏名 印

利低落スルヲ常トス是ヲ以テ商業ノ振不振ハ金融ニ繁閑ヲ生ジ金融ノ繁閑ハ金利ノ高低ヲ促スモノナリ故ニ商業隆盛ノ都會ニ於テハ之ヲ商業不振ノ田舎ニ較ブレバ金利高ク又毎年二大季節等都テ節前ハ世上一般ノ仕拂期限ナレバ金融逼迫シテ金利

騰貴スルヲ以テ知ルベシ然レドモ此他種々ノ原由ヨリシテ金利ノ高低ヲ招クモノニテ例令ハ負債者ノ償還力弱キトキハ金利騰貴シ且兵亂若クハ貨幣市場ノ恐慌等何レモ金利ニ大ナル影響ヲ及ボスモノナリ然ルニ世上ニハ往々愚民ヲ欺キテ不當ノ高利ヲ貪ラントスルモノアリ是社會ノ蠹害ニシテ之ガ爲メ紛紜ヲ生ズルコト少カラズ是ニ於テカ民智ノ未進マザル國ニ於テハ概利息ノ制度ヲ立テ以テ人民ヲ保護スルモノナリ我ガ國ニテモ明治十年九月ヲ

以テ利息制限法ヲ布告セラレ、利息ヲ契約上ノ利息ト、法律上ノ利息トニ分テリ、契約上ノ利息トハ、人民相互ニ契約ヲ以テ定メ得ベキ利息ニシテ、元金百圓以下ハ、一ヶ年百分ノ二十即年二割、百圓以上千圓以下ハ、百分ノ十五即年一割五分、千圓以上ハ、百分ノ十二即年一割二分以下トス、法律上ノ利息トハ、人民相互ノ契約ヲ以テ、最初ニ利息ノ高ヲ定メザルトキ、裁判所ヨリ言渡サル、所ノモノニテ、是ハ元金ノ多少ニ拘ハラズ、一ヶ年百分ノ六即六分ノ利息トセラレタリ、又負

債者ニシテ償還期限ヲ違へルトキ、債主ニ對シ若干ノ償金、罰金、違約金、料料等ヲ差出スベキコトヲ約定スルコトアルトモ、概シテ損害ノ補償ト看做シ、裁判官ニ於テ、該債主ノ實際受ケタル損害ノ補償ニ、不當ナリト思量スルトキハ、相當ノ減少ヲ申渡スコトヲ得ルモノトセラレタリ、

第十章 爲替

爲替トハ、遠隔ノ地へ送金スルニ當リ、貨幣ヲ遞送スルコト無クシテ、仕拂ヲ辨濟スルノ方法ヲ

謂フ、其便益タルヤ實ニ廣大ナルモノニテ、先貨幣輸送ノ煩勞無キノミナラズ、貨幣遞送ノ冗費ヲ省キ、天災人禍ヲ免カレ、賣買取引ヲ圓滑ニスル等、其利枚擧ニ遑アラズ、此方法ヲ施行スルニハ、爲替手形ト稱スル一種ノ證券ヲ用フ、今左ニ爲替ノ例ヲ示サンニ、東京ト大坂トノ如キ、兩地ノ間ニ通商盛ニ行ハル、トキハ、東京ノ商人ニシテ、大坂ノ商人ニ借リタルモノモアルベク、又大坂ノ商人ニシテ、東京ノ商人ニ借リタルモノモアルベシ、今假ニ大坂ノ甲商ハ、東京ノ乙商ニ

金千圓ノ借金アリテ、東京ノ丙商ハ、大坂ノ丁商ニ千圓ノ借金アリトセンニ、東京ノ丙商ハ、同地ノ乙商ニ千圓ヲ拂ヒ、大坂ノ甲商ハ、同地ノ丁商ニ千圓ヲ拂ヘバ、甲乙丙丁ノ四人ノ貸借ハ、毫モ貨幣ヲ遞送セズシテ、悉終了スルニ至ルベシ、爲替ノ法モ亦之ニ外ナラザルナリ、今之ヲ行フニハ、大坂ノ丁商ハ、東京ノ丙商へ宛タル千圓ノ爲替手形ヲ造リ、之ヲ同地ノ銀行へ賣渡ストキハ、甲商之ヲ銀行ヨリ買求メ、而シテ之ヲ東京ナル乙商ニ送附スレバ、乙商ハ此手形ヲ同地ノ丙商

ニ示シテ千圓ノ金額ヲ受取ルナリ、是ニ於テカ
 東京大坂間ノ貸借ハ、毫モ貨幣ヲ遞送スルコト
 ナクシテ、全ク終結スルニ至ルナリ、爲替ニ内外
 ノ別アリテ、爲替ノ外國へ跨ルモノヲ外國爲替
 ト云ヒ、内國ノミニ止ルモノヲ内國爲替ト云フ
 爲替相場ハ、爲替手形ノ價ニ昂低ヲ生ジテ、其賣
 買ニ損益ヲ生ズルコトヲ謂フモノニシテ、例令
 へバ東京ヨリ大坂へ輸送スル貨物、大坂ヨリ東
 京へ輸送スル貨物ヨリ多ケレバ、大坂ヨリ東京
 へ送金セント欲スル者ハ、東京ヨリ大坂へ送金

セント欲スル者ヨリ多カルベシ、故ニ東京宛ノ
 爲替手形ヲ買求メント欲スル者ハ、大坂宛ノ手
 形ヲ買求メント欲スル者ヨリ多キ勢ナレバ、自
 然其價ヲ騰貴スベク、而モ大坂ニテハ其價下落
 スルモ騰貴スルコトナシ、是ニ由テ之ヲ觀レバ、
 爲替相場モ亦諸物價ノ如ク、需用供給ノ權衡ニ
 依リテ上下スルモノナリ、今日各銀行ニ於テ爲
 替ヲ行フニ當リ、爲替打歩ト稱シテ手数料ヲ要
 スルハ、即此爲替相場ノコトニシテ、彼此ノ間ニ
 爲替借貸ノ差ニ由リテ高低アルモノナリ、又外

國爲替相場ハ、手形ノ需要供給ニヨリ高低ス
ルノミナラズ、各國ノ間、貨幣ノ價格ヲモ異ニ
スルガ故ニ、其價ノ比例如何ニ由リテ大ニ昂
低スルモノナリ、然レドモ爲替相場騰貴ノ度ハ、
概正貨ヲ遞送スルノ費用マデニ止マルモノト
ス、

郵便爲替ハ、證書一枚ノ金高ヲ三十圓マデニ限
リ、郵便局ニ於テ取扱ハル、モノニシテ、差出人
ハ、郵便局ニ設アル爲替願書用紙ニ、式ノ通り記
載調印シ、爲替金及爲替料ヲ主務者ニ交附シテ

爲替證書ヲ受領シ、之ヲ受取人ニ送付スベシ、斯
クテ受取人ハ、其爲替證書ニ、式ノ通り記名調印
シ、主務者ヨリ尋問スル諸件ヲ明瞭ニ返答シテ、
爲替金ヲ受取ルヲ得、但代人ヲ以テ爲替金ヲ受
取ルトキハ、證書ノ裏面ニ委任文ヲ記載シテ、記
名調印スベシ、此證書ノ効用ハ、其日限ヨリ百二
十日ヲ限ルモノナレバ、若其期限ヲ經過シタル
トキハ、更ニ書換ヲ願ヒ出デ、第二ノ證書ヲ以
テ爲替金ヲ受取ルベシ、
郵便小爲替ハ、一回ノ金高ヲ厘位以上三圓以下

トシ、些少ノ金額ヲ送ルニハ最便利ナリ、又至急ヲ要スル爲替ハ、電信爲替ヲ取組ムヲ宜シトス、此爲替ヲ受取リタラバ、先方ヨリ示名シ來ル銀行へ赴キ、證書ヲ入レテ金圓ヲ受取ルベキモノニテ、必一名ノ證人ヲ伴ヒ行キ、受取證ニ加判セシムルヲ法トス、

荷爲替トハ、荷主ヨリ遠方ノ商家へ、荷物ヲ輸送スルニ當リ、適資本ニ差支ユルカ、又ハ其他ノ事故ニ由リ現金ノ入用アルトキ、荷主ハ銀行へ其荷物ヲ依托シテ、代金ヲ借受ケンコトヲ請フト

キ、銀行ハ預リ證書ヲ出シテ之ヲ預リ、輸送ニ要スル日數ノ金利ト手数料トヲ、代金ヨリ差引キテ拂渡シ置キ、而シテ銀行ヨリ荷物ヲ先方へ引渡セシ後、代金ヲ取立テ、其前拂シタル、金額ヲ領收スルノ法ナリ、我が國ニ於テ荷爲替ノ業盛ニ行ル、ハ、多クハ商業社會ニ信用ノ乏シキニ歸因セザルヲ得ズ、何トナレバ若信用厚ケレバ、金錢ヲ貸與スルニ貨物ノ抵當ヲ要セザルナリ、歐米諸國ニ於テハ信用甚厚ク、僅カニ一片紙ノ手形ヲ以テ、容易ニ數萬圓ノ取引ヲモ辨ズルガ

明治二十一年十月十日
文部省檢定濟



版權所有

明治廿一年八月十四日
同 年八月十四日
同 年十月四日
同 年十月六日
印刷
再版
再版
再版
出版

定價金拾五錢

商業一

著者

松田好生

東京下谷區練堀町十四番地

發行者

辻敬之

東京下谷區御徒士町壹丁目七番地

印刷者

沼尻為作

東京下谷區練堀町十四番地

發兌

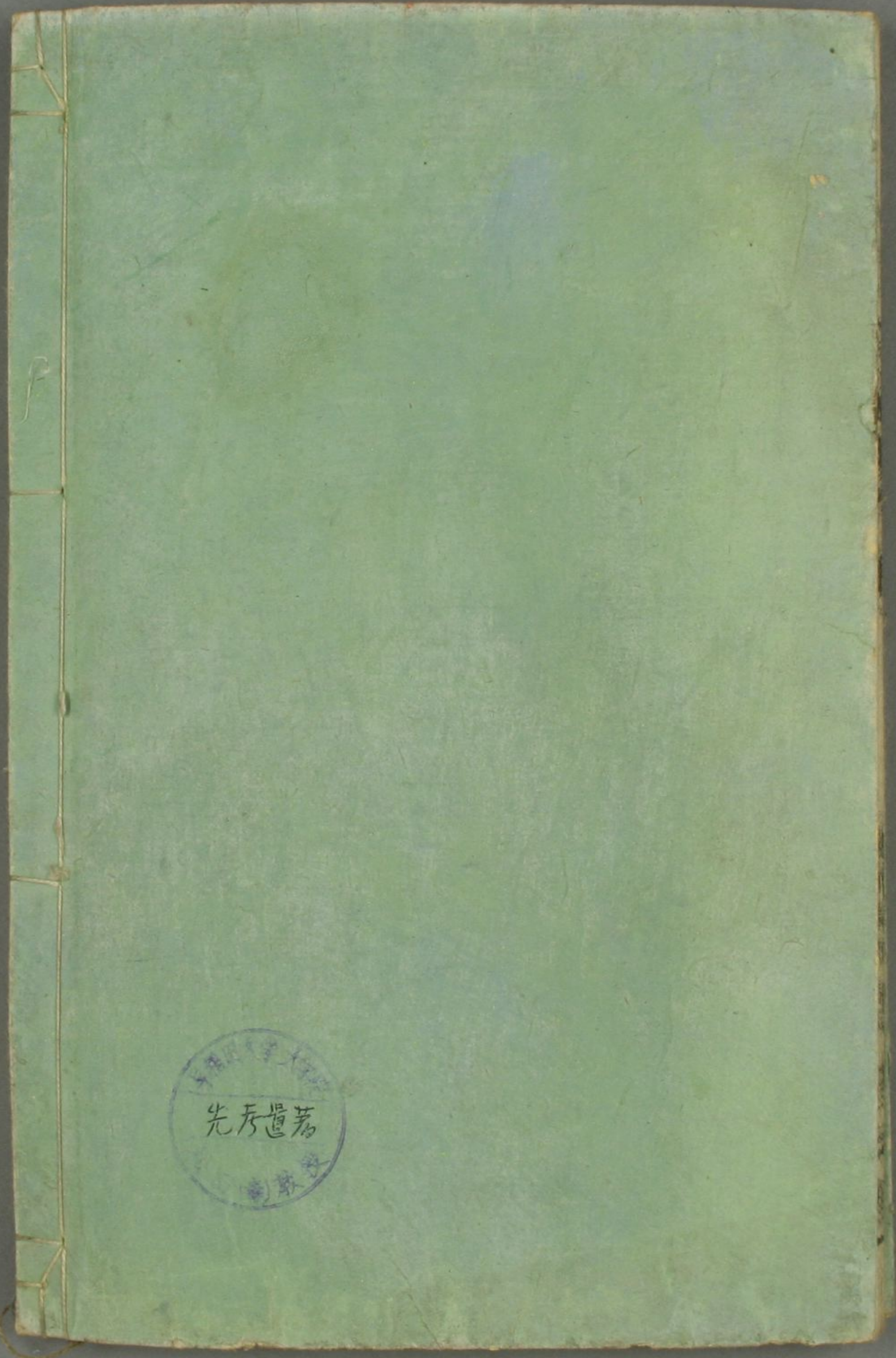
普及



校用 商業書第一 第七十六 普及

故二、荷爲替ノ如キ、迂遠ナル方法ノ行ハル、ハ甚稀ニシテ、手形ノ割引盛ニ行ハル、蓋我が國ニ於テモ、他日商業進步シ信用大ニ行ハレ、商家ノ振出シタル手形ヲシテ、互ニ相信ゼシムルニ至ラバ、荷爲替ノ業務ハ、漸ク衰ヘ手形ノ割引大ニ流行スルニ至ルベシ、

小學 商業書第一 終



先考遺著
上海圖書館藏
上海